



～生徒の活躍!～

県高校総体で女子ハンドボールが見事に優勝しましたが、さらに九州大会でも準優勝するという快挙を成し遂げました。しかも、決勝戦は全国でも名を馳せている明光学園(福岡)に1点差での惜敗です。九州大会では辛酸をなめましたが、全国大会でのリベンジを期待しています。



ボクシングの親川夏輝は、ライト級Aパート準決勝で惜しくも敗れ3位となりました。

また、文化系では九州高文祭沖縄大会席上揮毫大会で書道部の長谷川夕音が第3席に選ばれました。また放送部、写真部の頑張り、第20回俳句甲子園では文芸部が惜しくも2位となりましたが、伝統校浦添を内外にアピールすることができました。

全国高校野球選手権沖縄大会で、浦添高校は宮古工業高校と対戦した。万全の体制で臨みましたが惜しくも敗れてしまいました。推戴式でも話したとおり、この大会に懸ける部員の思いは甚大なもので、県内外のマスコミ、プロ野球関係者等が注目する大会です。

序盤は浦添リードで楽勝ムードのような感じでしたが、5回終了後のグラウンド整備の間に魔物が潜んでしまいました。不思議なことに雰囲気微妙に変わり、一気に相手の流れになりました。

野球の恐ろしさ、勝負の難しさを痛感しました。いろいろな想いが交錯し、何と声を掛けて良いのか、まさに「言葉が見つからない」とはこういう事を言うのかと実感しました。

いずれにしろ、参加した生徒のみなさん、この体験は君たちの人生の様々な場面で活かされていきます。必ず宝物になりますよ。本当にお疲れ様でした。先生方への感謝も忘れずにね。

～中学生への学校紹介～

近隣の中学校から「進路学習会」で学校紹介の依頼を受けた。

校長としては願ってもないことで「俺に行かせろ」と教頭を説得し、真和志中、松城中、浦西中に行ってきた。参加した高校は那覇商業、首里、西原、首里東、那覇工業等いずれも学校アピールが凄かった。しかし、私も負けてない。ほとんどの説明者が、教頭か入試担当の先生で、校長は私ひとり。ここで一歩リード。おまけに学校自慢をさせたら、たぶん私が沖縄1だと自負している。

それもこれも生徒の皆さんや先生方のお陰である。これまでの進路実績、部活動の実績、行事等の頑張り間違いなく沖縄1だ。生徒達は「自主・自立」を大切にし、何事に対しても責任をもって一生懸命頑張ってくれる。それを支えているのが先生方、生徒の将来を見据え、苦勞を苦勞と思わず頑張ってくれる。

ちなみに、中学生に「全員浦添高校に来てよ。」と言ったら笑われた。

校長雑感

俳句甲子園県予選の応援に行った。事前に与えられた課題をもとに作品を仕上げ、当日は対戦校とお互いの作品についてのディベート?を行う。大会では自らの作品に鋭い突っ込みが浴びせられ、身も心も引き裂かれる思いをする恐ろしい大会だ。

本校の文芸部はそんな中でも、チーム力を発揮し、お互いを支えながら頑張っていました。私の誇りです。 校長

～500冊突破～

自学自習ノート配布冊数が500冊を超えました。6月20日(火)現在で536冊です。

また、2冊目突入生徒は1年3名、2年5名、3年15名だ。さすがは3年生というところかな。また、3冊目突入は1年1名、3年3名になっています。この調子でどんどん進めてください。この積み重ねは必ず、結果に表れてきます。また、自分自身の自信にも繋がるはずですよ。

ちなみに、このノートの資金源は浦添高校後援会からの寄贈になっています。感謝の気持ちも忘れないようにね!



～～～ 時の言葉 ～～～

難問は分解せよ



ルネ・デカルト(哲学者・数学者)

どんなに複雑に見える数式も、一つひとつ分割して解いていけば答えを導き出せる。人生も同じ、どんなに難しく思えることも、分割して考えていけば解決の糸口が見つかる。

行政の仕事をしているとき実感しました。 校長